



定例記者会見

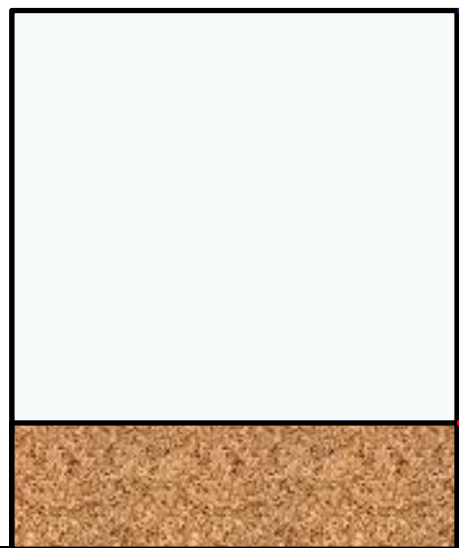
熊本～ソウル線の夏季増便の見送りについて

特別養護老人ホームの入所申込者に関する
取組み状況について

平成25年度の農地集積の実績について

特養入所申込者状況調査の結果

H25. 7. 1



7,440人
(※)

入所申込者

1,673人

早急な対応必要

※在宅で要介護3以上又は認知症の度合いⅡ以上

※複数の特養に重複して申し込んでいる人、亡くなっている人、入所希望時期未到来の人等を整理した数

前回調査との比較

H21年度

全国 約42万人



○全国は約10万人
(24%)の増加

○熊本県は減少
(▲10.4%)

※減少は、東京都、三重県、
愛媛県、熊本県の4団体
※九州内では唯一減少。

H25年度

全国 約52万人



熊本県7,440人
(▲863人)

【参考】九州各県の入所申込者数の推移

	H21年度		H25年度		増減状況	
					(人)	(率)
福岡県	17,166		18,255		1,089	6%
佐賀県	1,317	※1	4,304		(2,987)	－
長崎県	3,936		5,284		1,348	34%
熊本県	8,303		7,440		▲ 863	▲ 10%
大分県	3,945		6,227		2,282	58%
宮崎県	3,150	※2	3,983	※3	(833)	－
鹿児島県	6,639		7,782	※4	(1,143)	－
沖縄県	3,026	※1	5,153		(2,127)	－

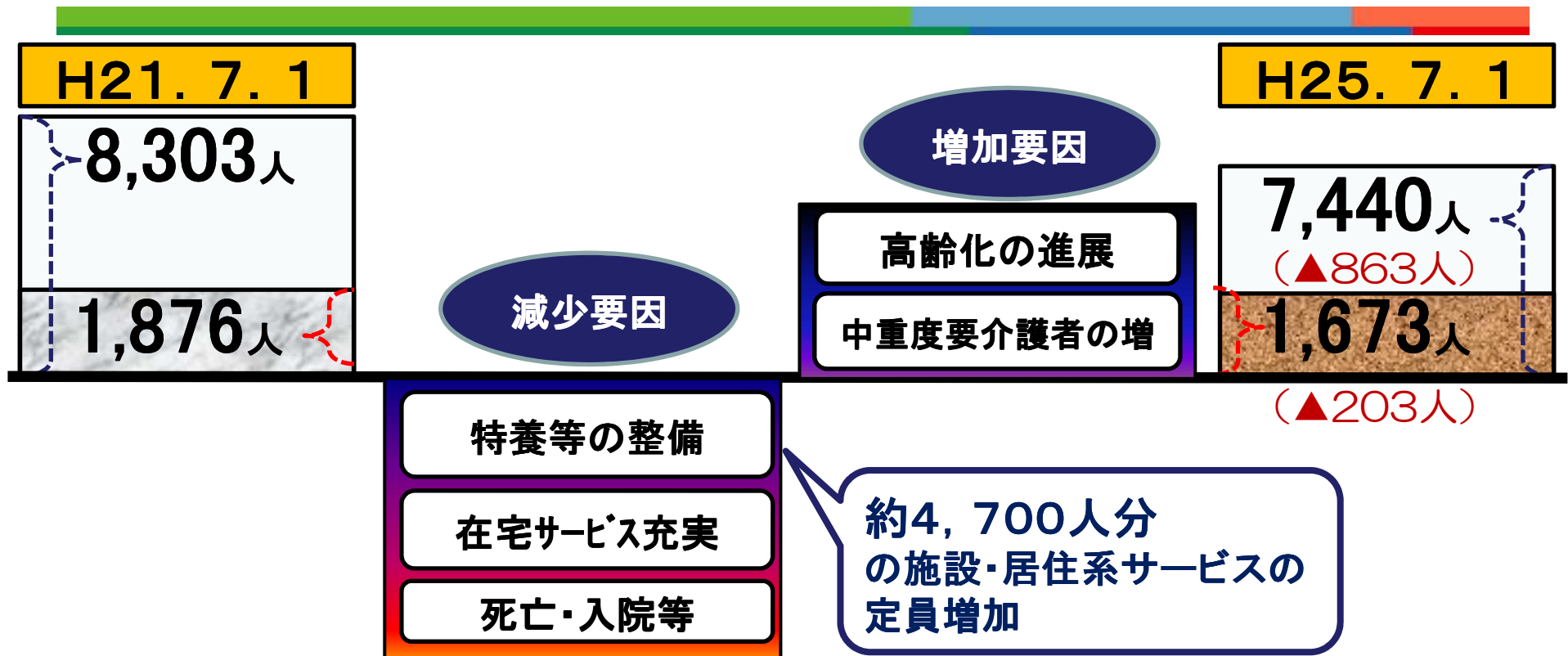
※厚生労働省公表資料(H21年度及びH25年度)から整理

<補足>

[注] 各県の入所申込者数は、調査対象が同一ではないなど単純には比較できない。

※1: 在宅のみ、※2: 非在宅のうち、介護3施設は含まない、※3: 介護3施設、GH含まず、※4: 重複等有り

変動の状況



「早急な対応が必要と考えられる高齢者」の 待機解消に向けた取組み

介護保険次期計画(H27~29)を策定

○市町村と連携し、地域の実情に沿った計画を策定

①施設・居住系サービスの基盤整備

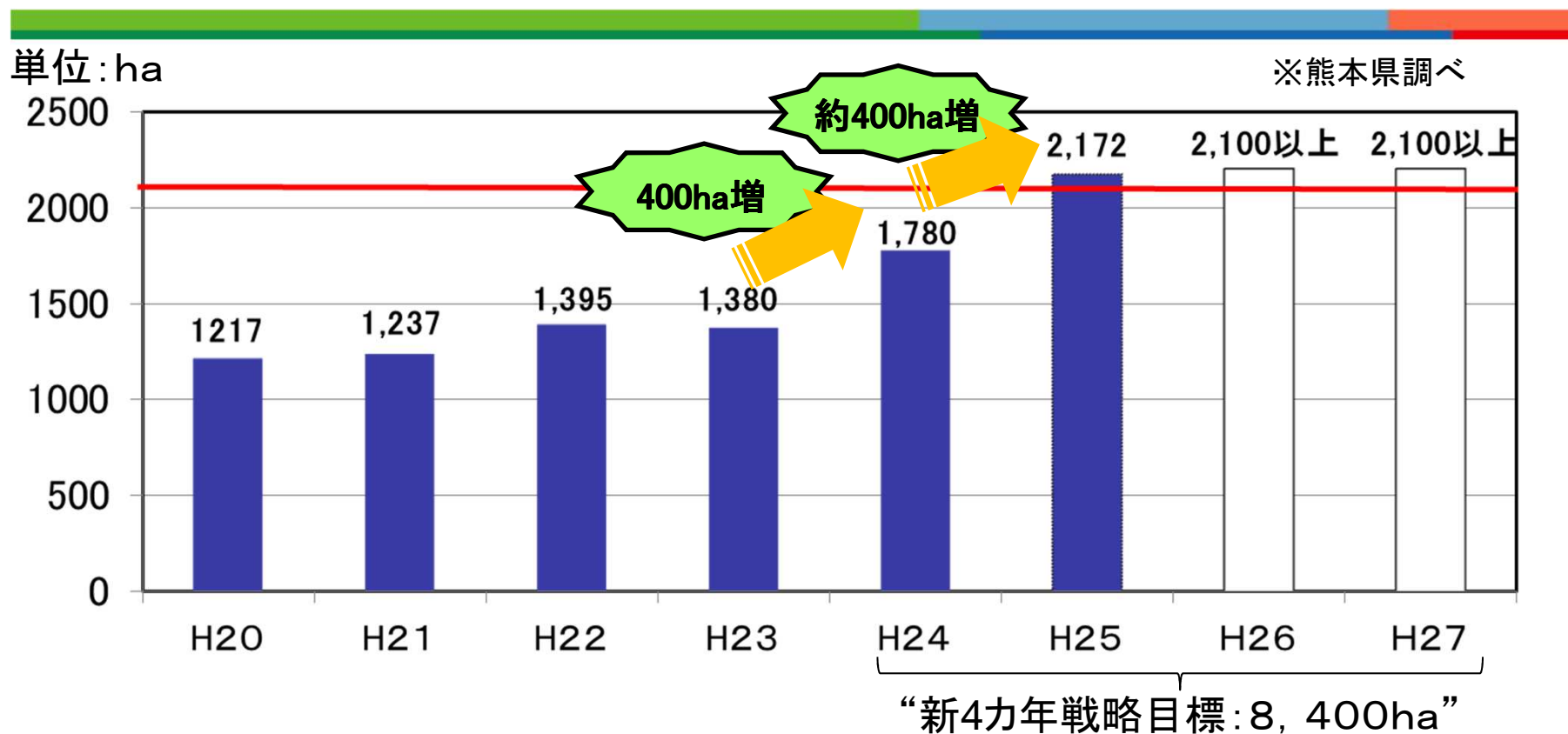
(特養、グループホーム、小規模多機能、特定施設)

②在宅サービスの充実

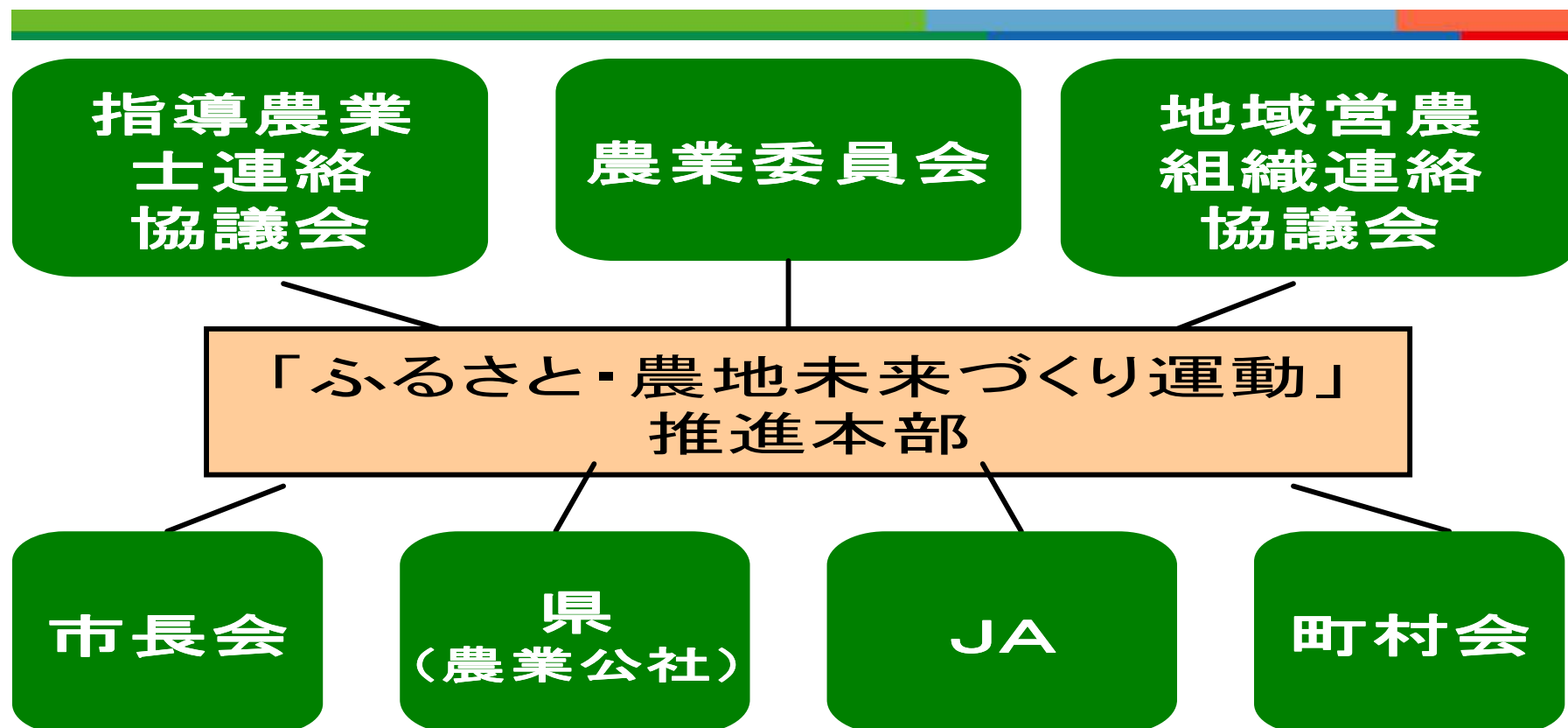
(居宅サービス事業所、定期巡回・随時対応型訪問介護看護等)

農地集積面積の単年度目標2,100haを達成！！

※新4力年戦略(H24~H27)の目標8,400ha

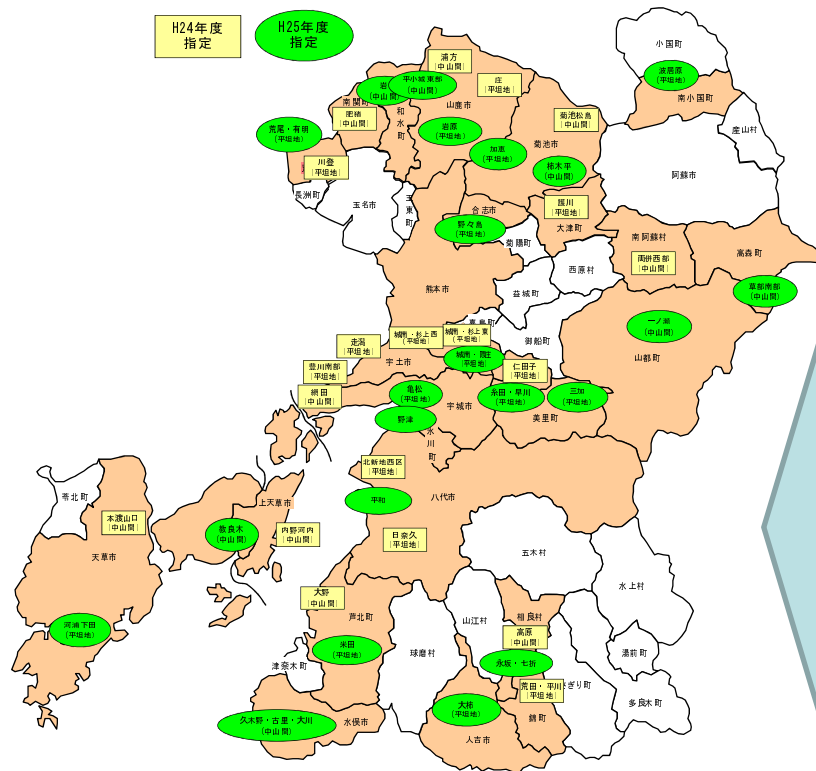


関係機関が一体となった県民運動



県の取組み

農地集積重点地区（位置図）



農地集積重点地区(42地区)の設置

地域の話し合いにより農地集積を支援

○農地集積専門員を各地域振興局に配置(14名)

○集積の取組みに対する交付金の創設

本年度の取組み



○本年度さらに22の重点地区の指定

○国の成長戦略として新設された農地
中間管理事業が4月1日から開始